

ロボット・テクノロジー 関連株ファンド (年1回決算型) -ロボテック (年1回) -

運用報告書 (全体版) 第6期

(決算日 2021年9月13日)

(作成対象期間 2020年9月15日~2021年9月13日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約9年7カ月間 (2016年2月8日~2025年9月12日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アクサIM・グローバル・ロボット関連株ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
2期末(2017年9月13日)	円 15,196	円 0	% 41.8	13,019	% 29.8	% －	% 97.8	百万円 10,790
3期末(2018年9月13日)	16,656	0	9.6	14,328	10.1	－	99.3	18,912
4期末(2019年9月13日)	16,714	0	0.3	14,603	1.9	－	99.3	14,917
5期末(2020年9月14日)	21,446	0	28.3	15,747	7.8	－	99.2	13,015
6期末(2021年9月13日)	30,189	0	40.8	21,659	37.5	－	99.1	15,627

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

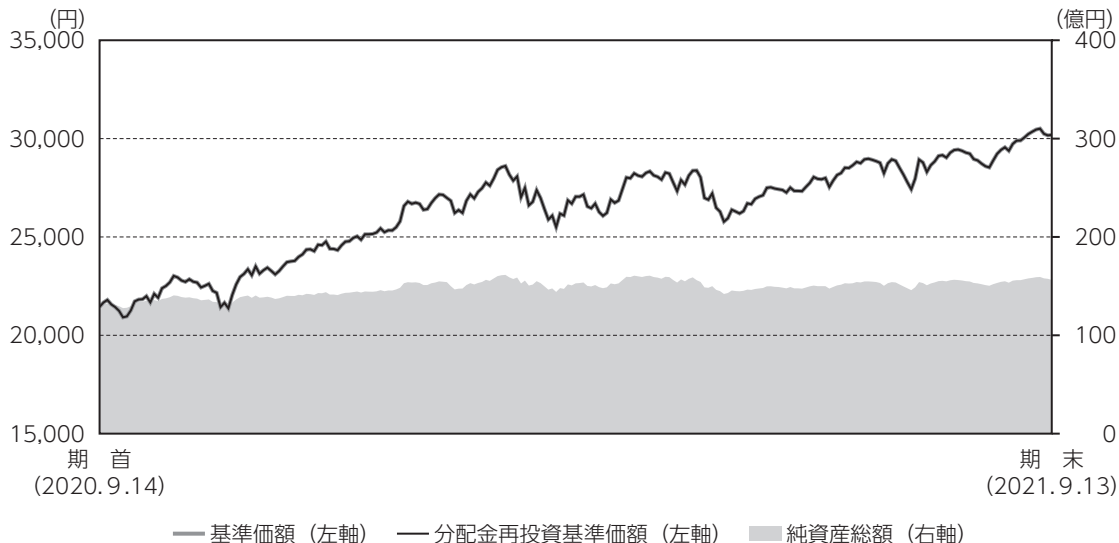
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：21,446円

期末：30,189円（分配金0円）

騰落率：40.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、保有銘柄の株価上昇がプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 券 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2020年 9月14日	円 21,446	% －	15,747	% －	% －	% 99.2
9 月末	21,818	1.7	15,621	△ 0.8	－	98.8
10月末	21,654	1.0	15,313	△ 2.8	－	98.6
11月末	23,986	11.8	17,042	8.2	－	99.5
12月末	25,243	17.7	17,526	11.3	－	98.7
2021年 1 月末	26,369	23.0	18,024	14.5	－	98.9
2 月末	26,607	24.1	18,707	18.8	－	98.5
3 月末	26,850	25.2	19,692	25.1	－	98.6
4 月末	28,033	30.7	20,444	29.8	－	99.0
5 月末	27,524	28.3	20,741	31.7	－	99.3
6 月末	28,815	34.4	21,235	34.9	－	99.4
7 月末	28,839	34.5	21,288	35.2	－	98.7
8 月末	29,898	39.4	21,730	38.0	－	99.5
(期末) 2021年 9月13日	30,189	40.8	21,659	37.5	－	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.9.15~2021.9.13)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、大幅に上昇した銘柄に利益確定の動きが強まったとみられるほか、米国大統領選挙を控えてリスクを回避する動きも強まったようで、上値の重い展開となりました。2020年11月以降は、米国大統領選挙で民主党のバイデン氏が当選確実となって選挙結果に対する不確実性が後退したことや、それによって大型経済対策への期待が高まったこと、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことなどが好感され、株価は上昇しました。2021年に入っても、1月には米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、3月には実際に米国で追加経済対策が発表されたことや、ワクチンの接種が進んで新規感染者数が減少したことなどが好感され、株価は引き続き上昇しました。その後は、インフレ懸念の高まりや金融緩和縮小の早期化観測などから一時的に調整する場面はあったものの、ワクチンの接種が進んで種々の行動制限が解除されたことや良好な企業業績の発表などが好感され、上昇基調で推移しました。

■為替相場（米ドル/円、ユーロ/円）

米ドル円相場は上昇（円安）しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2021年1月初めにかけて、米国の緩和的な金融政策の長期化見通しなどから下落基調となりました。3月末にかけては、米国での経済対策への期待を受けて米国の中長期金利が上昇したことなどから大幅に上昇しました。その後は、米国の中長期金利の上昇に一服感が見られたことや、米国における量的金融緩和政策の縮小を巡る市場予想の変化などにより、ボックス圏でもみ合う展開となりました。

ユーロ円相場は上昇しました。

ユーロ円相場は、当作成期首から2020年10月末にかけて、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念などから下落基調で推移しました。2021年5月にかけては、新型コロナウイルスワクチンの普及に対する期待感が高まったことや、ユーロ圏の中長期金利が上昇して日本との金利差が拡大したことなどから、上昇基調となりました。その後は、米国の金融緩和政策からの早期正常化観測により、米ドル高が進行した影響などを受けて下落基調となりましたが、当作成期を通じては上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、ビジョンシステムなど自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術やデジタルヘルスなどを手掛ける企業などに注目しています。今回のコロナショックは経済活動や人々の生活に大きな変化をもたらしましたが、世界が直面している課題を解決するためにロボット・テクノロジーが大きく貢献することが期待されています。オンラインへの対応、物流の自動化、生産拠点の見直しなど、さまざまな分野でロボットの導入や自動化が加速していくことが想定されます。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.9.15~2021.9.13)

■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コム、キーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやマレルなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資しました。

当作成期は、英国の産業向けプロセス・オートメーション・ソフトウェアを開発するアヴィバ・グループや、米国のソフトウェアを用いたシミュレーションによる設計技術を提供するアルテアエンジニアリングを新規で組み入れました。また、自動化関連ビジネスの需要が上向いており企業も海外市場に注力していることから産業用ロボット大手のファナック、センサーやビジョンシステム製造を手掛けるキーエンス、ロボット用精密減速機メーカーのナブテスコなどの日本の自動化関連銘柄の買い増しを行いました。一方、米国の半導体メーカーであるエヌビディアを一部売却して利益を確定しました。

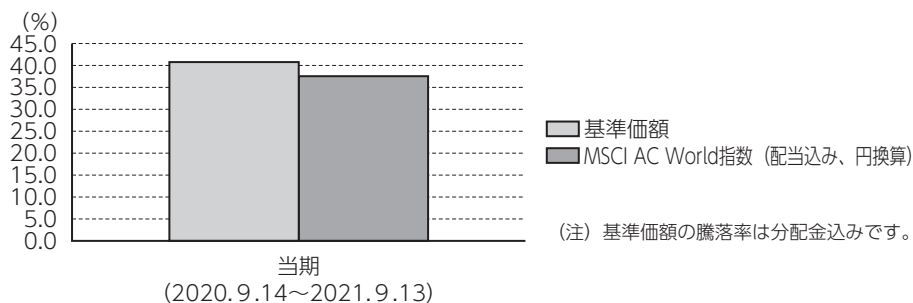
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年9月15日 ～2021年9月13日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	20,189

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

グローバル経済は、徐々にコロナウイルスの影響から立ち直り本格的な回復局面へと向かう中、引き続き、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流など幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えられます。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで、中長期的な信託財産の成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.9.15~2021.9.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	326円	1.234%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は26,388円です。
（投 信 会 社）	(101)	(0.384)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(217)	(0.823)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(7)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(2)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	328	1.242	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

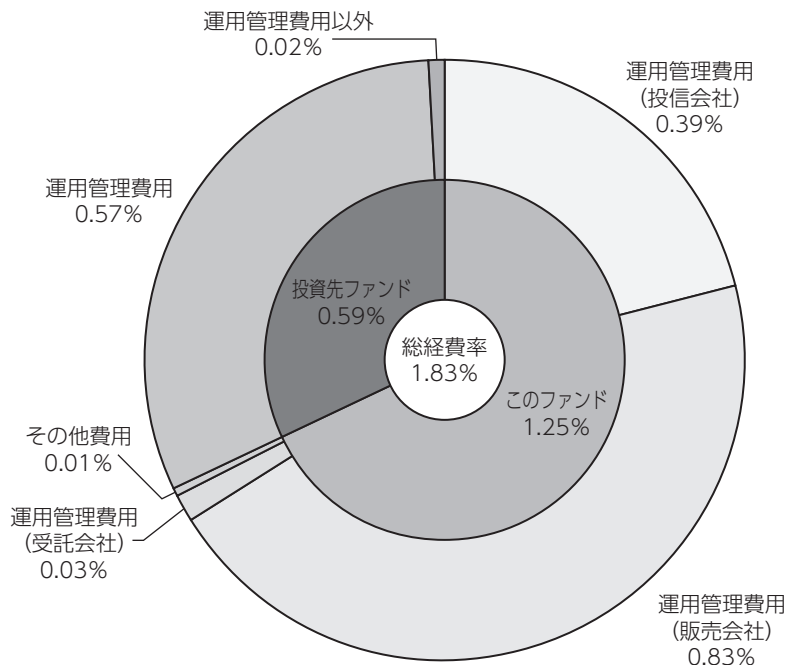
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年9月15日から2021年9月13日まで)

国	買付	付		付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
内	千口	千円	千口	千円	
	212,191.281	475,000	1,290,040.572	3,071,000	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期		末
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	5,611,753.101	15,490,122	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口	千口	千円
	100	100	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年9月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	15,490,122	97.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	404,275	2.5
投資信託財産総額	15,894,498	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,894,498,072円
コール・ローン等	286,275,320
投資信託受益証券(評価額)	15,490,122,084
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,668
未収入金	118,000,000
(B) 負債	267,212,476
未払解約金	172,464,863
未払信託報酬	94,116,834
その他未払費用	630,779
(C) 純資産総額(A－B)	15,627,285,596
元本	5,176,500,120
次期繰越損益金	10,450,785,476
(D) 受益権総口数	5,176,500,120口
1万口当り基準価額(C/D)	30,189円

* 期首における元本額は6,068,818,015円、当作成期間中における追加設定元本額は1,462,502,090円、同解約元本額は2,354,819,985円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は30,189円です。

■損益の状況

当期 自2020年9月15日 至2021年9月13日

項 目	当	期
(A) 配当等収益	△	58,914円
受取利息		13,696
支払利息	△	72,610
(B) 有価証券売買損益		4,144,130,431
売買益		5,124,540,616
売買損	△	980,410,185
(C) 信託報酬等	△	183,875,255
(D) 当期損益金(A + B + C)		3,960,196,262
(E) 前期繰越損益金		2,243,530,291
(F) 追加信託差損益金		4,247,058,923
(配当等相当額)	(1,603,676,161)
(売買損益相当額)	(2,643,382,762)
(G) 合計(D + E + F)		10,450,785,476
次期繰越損益金(G)		10,450,785,476
追加信託差損益金		4,247,058,923
(配当等相当額)	(1,603,676,161)
(売買損益相当額)	(2,643,382,762)
分配準備積立金		6,203,785,470
繰越損益金	△	58,917

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	3,960,204,188
(c) 収益調整金	4,247,058,923
(d) 分配準備積立金	2,243,581,282
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	10,450,844,393
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	10,450,844,393
(h) 受益権総口数	5,176,500,120口

<補足情報>

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年9月13日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年9月15日～2021年9月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年9月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

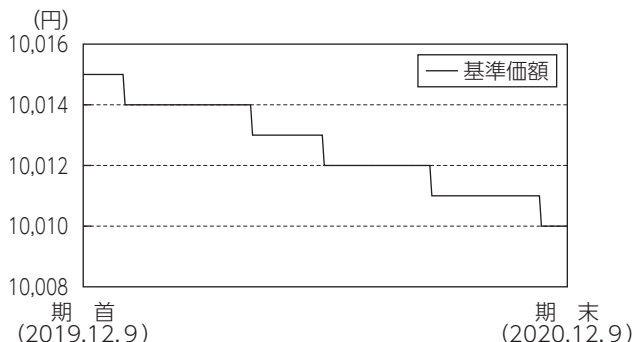
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2019年12月9日	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	88,460,615 千円	100.0%
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレパレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレパレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド(資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レパレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOP I Xレパレッジ(2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レパレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット・細細株株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A + B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C + D + E + F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（2025年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。 マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。	
	②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。		

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第11期（決算日 2021年8月13日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第11期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 金		株 式 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 率	中 率		
7 期末(2019年 8 月13日)	円 13,476	円 0	% △ 2.3	% 98.5	百万円 281,035
8 期末(2020年 2 月13日)	17,339	0	28.7	98.0	261,657
9 期末(2020年 8 月13日)	19,591	0	13.0	97.0	246,840
10期末(2021年 2 月15日)	25,788	0	31.6	96.9	282,277
11期末(2021年 8 月13日)	26,697	0	3.5	97.8	282,651

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

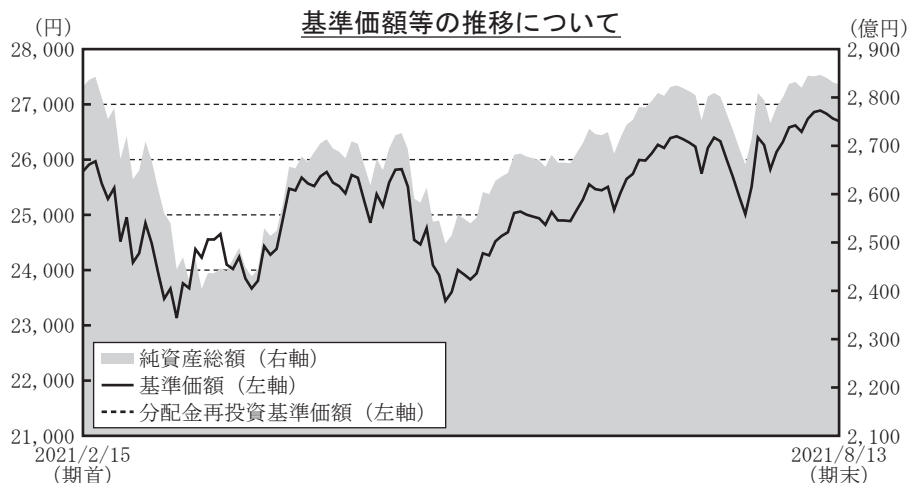
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	
		株 式 組 入 比 率	株 式 組 入 比 率
(期 首) 2021年 2 月15日	円 25,788	% —	% 96.9
2 月末	24,138	△6.4	96.4
3 月末	24,385	△5.4	96.3
4 月末	25,509	△1.1	97.0
5 月末	25,060	△2.8	97.0
6 月末	26,269	1.9	98.0
7 月末	26,320	2.1	97.9
(期 末) 2021年 8 月13日	26,697	3.5	97.8

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2021年2月16日～2021年8月13日）



期 首：25,788円

期 末：26,697円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率： 3.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主として日本や欧州の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス寄与となりましたが、為替市場で円安が進行したことから基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初より新型コロナウイルスのワクチン接種が進められ、グローバル経済の回復とそれに伴う消費の復活への期待感が市場を押し上げました。3月に米国で景気対策として1.9兆ドル規模の救済計画法案が成立したことも相まって、経済活動の正常化に向けて前進が見られ株価は堅調に推移しました。これに伴い消費も向こう数ヶ月で改善すると期待され、4月には購買担当者景気指数（PMI）などの経済指標にも改善傾向が見られました。5月以降も引き続き株価は上昇を続け、6月には米連邦制度理事会（FRB）が景気の過熱を抑えるために従来見通しよりも早期の利上げをすることがあっても、緩和的な政策を長期にわたって維持する姿勢を示したことを受けて、長期的な成長テーマにフォーカスして銘柄を組み入れている当ファンドにとって好ましい投資環境となりました。7月に入ると企業の2021年4～6月期決算報告が総じて非常に好調だったことから好決算銘柄が買われ、8月13日のS&P500種株価指数およびダウ工業株30種平均は過去最高値を更新しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の105円台から期末には110円台となり、ユーロ・円レートは期初の127円台から期末には129円台となりました。

当期は、米ドルは新型コロナウイルスワクチン接種や3月中旬に成立した救済計画法案制定による景気回復期待を受けて、ユーロはワクチン接種や3月に決定したパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）の大幅買い入れなど経済再生への各国協調が景気回復期待を高め円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやマレルなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、米国のソフトウェアを用いたシミュレーションによる設計技術を提供するアルテアエンジニアリングを新規で組み入れました。また、自動化関連ビジネスの需要が上向いており、企業も海外市場に注力していることからモーション・コントロールの大手サプライヤーSMC、産業用ロボット大手のファナック、センサー／ビジョンシステム製造を手掛けるキーエンス、ロボット用精密減速機メーカーのナブテスコなどの日本の自動化関連銘柄の買い増しを行いました。一方、米国の半導体メーカーエヌビディアを一部売却し利益を確定しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

		第11期
		2021年2月16日～2021年8月13日
当期分配金		—
	(対基準価額比率)	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		16,696

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を四捨五入して表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

グローバル経済は徐々にコロナウイルスの影響から立ち直り、本格的な回復局面へと向かう中、引き続き、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流など幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えられます。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2021年2月16日～2021年8月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	71円	0.283%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は25,192円です。
（投 信 会 社）	(68)	(0.270)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(1)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.012	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(3)	(0.012)	
そ の 他 費 用	2	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.008)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	76	0.303	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2021年2月16日～2021年8月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	9,271,935	19,000,000	13,814,169	27,800,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2021年2月16日～2021年8月13日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	71,746,871千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	277,455,218千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.25

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2021年2月16日～2021年8月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2021年2月16日～2021年8月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2021年8月13日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	130,869,483	126,327,250	282,568,792

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	282,568,792	99.7
コール・ローン等、その他	839,943	0.3
投資信託財産総額	283,408,736	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（254,758,739千円）の投資信託財産総額（300,022,115千円）に対する比率は、84.9%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.46円、1台湾ドル=3.971円、1英ポンド=152.55円、1ユーロ=129.60円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	283,408,736,054円
コール・ローン等	139,943,098
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	282,568,792,956
未 収 入 金	700,000,000
(B) 負 債	757,260,405
未 払 信 託 報 酬	756,677,649
そ の 他 未 払 費 用	582,756
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	282,651,475,649
元 本	105,875,605,705
次 期 繰 越 損 益 金	176,775,869,944
(D) 受 益 権 総 口 数	105,875,605,705口
1万口当り基準価額(C/D)	26.697円

1. 期首元本額 109,461,932,770円
 期中追加設定元本額 8,356,290,315円
 期中一部解約元本額 11,942,617,380円
 2. 1口当たり純資産額 2.6697円

■損益の状況

当期(自 2021年2月16日 至 2021年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 257,719円
受 取 利 息	5,771
支 払 利 息	△ 263,490
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	11,395,069,460
売 買 益	13,444,699,850
売 買 損	△ 2,049,630,390
(C) 信 託 報 酬 等	△ 757,297,716
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	10,637,514,025
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	129,558,104,929
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	36,580,250,990
(配 当 等 相 当 額)	(36,532,054,815)
(売 買 損 益 相 当 額)	(48,196,175)
(G) 計 (D+E+F)	176,775,869,944
次 期 繰 越 損 益 金(G)	176,775,869,944
追 加 信 託 差 損 益 金	36,580,250,990
(配 当 等 相 当 額)	(36,545,761,536)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,489,454)
分 配 準 備 積 立 金	140,195,618,954

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（614,678,493円）、費用控除後の有価証券等損益額（10,022,835,532円）、信託約款に規定する収益調整金（36,580,250,990円）および分配準備積立金（129,558,104,929円）より分配対象収益は176,775,869,944円（10,000口当たり16,696.56円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよび消費者向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日：2021年8月13日）

（計算期間 2020年8月14日～2021年8月13日）

■最近5期の運用実績

決算期	基準 額	騰落率		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
	円		%	%	百万円
2 期末(2017年 8 月14日)	10,127		36.2	95.8	234,330
3 期末(2018年 8 月13日)	11,852		17.0	98.6	436,627
4 期末(2019年 8 月13日)	11,155	△	5.9	98.6	298,397
5 期末(2020年 8 月13日)	16,315		46.3	97.0	262,542
6 期末(2021年 8 月13日)	22,368		37.1	97.9	299,321

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

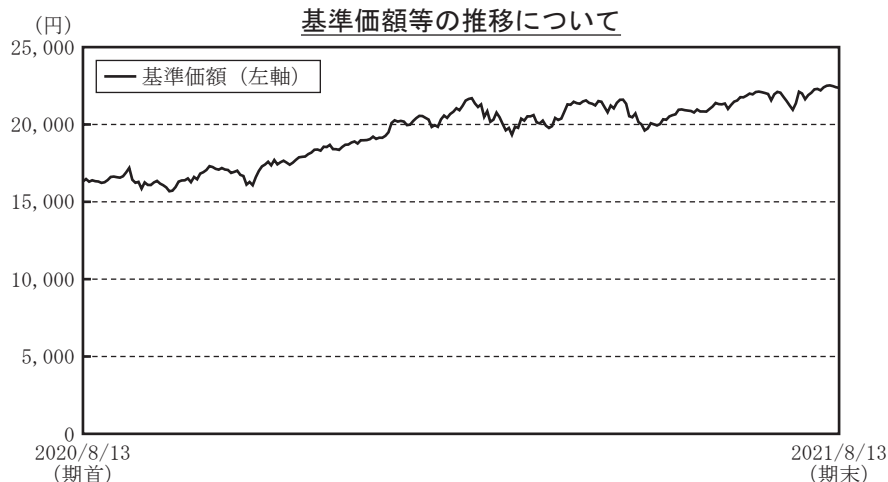
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準 額	騰落率		株 組 入 比 率
		騰	落	
(期 首) 2020年 8 月13日	円 16,315		% —	% 97.0
8 月末	16,560		1.5	97.9
9 月末	16,379		0.4	96.2
10 月末	16,283	△	0.2	98.0
11 月末	18,083		10.8	98.8
12 月末	19,066		16.9	97.9
2021年 1 月末	19,957		22.3	97.9
2 月末	20,169		23.6	96.5
3 月末	20,381		24.9	96.7
4 月末	21,338		30.8	97.2
5 月末	20,973		28.6	97.2
6 月末	21,995		34.8	98.0
7 月末	22,048		35.1	97.7
(期 末) 2021年 8 月13日	円 22,368		% 37.1	% 97.9

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年8月14日～2021年8月13日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇しプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初は、グローバル経済が回復軌道に戻りつつあることなどから株式市場は堅調に推移しました。9月に入ると、新型コロナウイルス感染再拡大や米国大統領選挙の不透明感などの懸念材料から下落に転じましたが、11月以降は大統領選挙が行われて市場の不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの臨床試験においても有効性を示す結果が出されたことが好感され株価は大きく上昇しました。12月から2021年1月にかけて複数のワクチンの承認・接種開始を受けて、グローバル経済の回復とそれに伴う消費の復活への期待感が市場を押し上げました。3月に米国で景気対策として1.9兆ドル規模の救済計画法案が成立したことも相まって、経済活動の正常化に向けて前進が見られ、4月には購買担当者景気指数（PMI）などの経済指標にも改善傾向が見られました。5月以降も引き続き株価は上昇を続け、7月に入ると企業の2021年4～6月期決算報告が総じて非常に好調だったことから好決算銘柄が買われ、8月13日のS & P 500種株価指数およびダウ工業株30種平均は過去最高値を更新しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の106円台から期末には110円台となり、ユーロ・円レートは期初の126円台から期末には129円台となりました。

当期は、米ドルは新型コロナウイルスワクチン接種や3月中旬に成立した救済計画法案制定による景気回復期待を受けて、ユーロはワクチン接種や3月に決定したパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）の大幅買入れなど経済再生への各国協調が景気回復期待を高め円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやマレルなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、英国の産業向けプロセス・オートメーション・ソフトウェアを開発するアヴィバ・グループや米国のソフトウェアを用いたシミュレーションによる設計技術を提供するアルテアエンジニアリングを新規で組入れました。また、自動化関連ビジネスの需要が上向いており、企業も海外市場に注力していることからモーション・コントロールの大手サプライヤーSMC、産業用ロボット大手のファナック、センサー／ビジョンシステム製造を手掛けるキーエンス、ロボット用精密減速機メーカーのナブテスコなどの日本の自動化関連銘柄の買い増しを行いました。一方、米国の大手テクノロジー企業アマゾン・ドット・コム、半導体メーカーエヌビディアや日本の自動化機器部品の専門商社ミスミグループ本社を一部売却し利益を確定しました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

グローバル経済は徐々にコロナウイルスの影響から立ち直り、本格的な回復局面へと向かう中、引き続き、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流など幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えられます。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7円 (7)	0.036% (0.036)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	3 (3)	0.014 (0.014)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	10	0.050	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は19,478円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2020年8月14日～2021年8月13日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株 864	千円 11,030,063	千株 2,089	千円 16,015,022
	外 国	ア メ リ カ	百株 55,070 (5,788)	千米ドル 416,163	百株 51,502
台 湾		1,230	千台湾ドル 73,618	17,730	千台湾ドル 907,673
イ ギ リ ス		8,432	千英ポンド 27,224 (1,561)	6,428	千英ポンド 16,246
ユーロ			千ユーロ		千ユーロ
オ ラ ン ダ		2,445	10,356	8,928	35,398
フ ラ ン ス		134	1,738	1,093	12,756
ド イ ツ		7,042 (△4,796)	37,826 (△24)	17,752	74,950
そ の 他	7,236	3,677	12,949	6,167	

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	180,088,631千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	266,519,571千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.67

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2020年8月14日～2021年8月13日)

買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
QUIDEL CORP	195	3,944,036	20,210	NVIDIA CORP	77	4,849,687	62,523
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	894	3,254,232	3,639	ALPHABET INC-CL C	22	4,694,909	210,072
ファナック	126	3,209,918	25,354	KONINKLIJKE PHILIPS NV	892	4,567,747	5,115
ALTAIR ENGINEERING INC - A	396	2,742,941	6,924	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	214	3,908,157	18,222
VIAVI SOLUTIONS INC	1,622	2,670,718	1,645	AMAZON.COM INC.	10	3,446,251	344,074
AVEVA GROUP PLC	417	2,554,194	6,112	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	1,773	3,379,212	1,905
APTIV PLC	213	2,305,709	10,792	ミスミグループ本社	998	3,302,559	3,307
IPG PHOTONICS CORP	113	2,228,197	19,612	キーエンス	63	3,186,969	50,030
S M C	32	2,068,175	62,862	QUALCOMM INC	212	3,049,824	14,363
SIEMENS AG	114	1,995,390	17,498	AUTODESK INC	95	2,796,000	29,165

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2020年8月14日～2021年8月13日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況 (2020年8月14日～2021年8月13日)

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細 (2021年8月13日現在)

(1) 国内株式

銘柄	前期末 株数	当期末	
		株数	金額
	千株	千株	千円
機械 (32.0%)			
ナブテスコ	739	770	3,369,187
S M C	67	78	5,616,076
ダイフク	507	508	4,950,842
電気機器 (68.0%)			
安川電機	1,004	858	4,877,416
日本電産	409	327	4,182,364
オムロン	489	431	4,258,534
キーエンス	201	151	9,752,055
ファナック	203	268	6,552,600
卸売業 (-)			
ミスミグループ本社	998	-	-
合計	株数・金額	4,620	3,395
	銘柄数<比率>	9	8 <14.6%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当	期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千米ドル	千円	
(アメリカ)					
NXP SEMICONDUCTORS NV	2,496	2,547	54,657	6,037,446	半導体・半導体製造装置
ABTOMED INC	898	823	26,533	2,930,865	ヘルスケア機器・サービス
ACCELERATE DIAGNOSTICS INC	8,161	6,167	4,014	443,494	ヘルスケア機器・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	5,069	4,876	51,932	5,736,427	半導体・半導体製造装置
APTIV PLC	3,258	3,665	61,043	6,742,835	自動車・自動車部品
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	179	12,627	1,394,840	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL C	502	294	81,409	8,992,438	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC.	252	208	69,013	7,623,222	小売
ANSYS INC	1,670	1,262	45,891	5,069,121	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	1,376	3,588	53,432	5,902,197	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	2,708	2,047	25,766	2,846,136	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	2,836	2,151	71,424	7,889,600	ソフトウェア・サービス
AXONICS MODULATION TECHNOLOG	5,925	6,785	44,335	4,897,325	ヘルスケア機器・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	5,115	3,865	58,860	6,501,682	ソフトウェア・サービス
COGNEX CORP	7,156	5,546	45,415	5,016,584	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COMED CORP	2,778	2,838	35,059	3,872,622	ヘルスケア機器・サービス
ALTAIR ENGINEERING INC - A	—	3,838	27,701	3,059,899	ソフトウェア・サービス
CREE INC	3,303	2,496	22,891	2,528,626	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	1,724	1,636	80,649	8,908,541	ヘルスケア機器・サービス
GXO LOGISTICS INC	—	1,880	14,270	1,576,290	ヘルスケア機器・サービス
GLOBUS MEDICAL INC-A	6,192	4,679	36,053	3,982,434	ヘルスケア機器・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	2,144	—	—	—	資本財
IPG PHOTONICS CORP	2,480	2,583	43,862	4,845,088	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	979	739	37,781	4,173,351	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	1,172	885	88,586	9,785,209	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	1,872	2,338	18,497	2,043,181	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	3,313	2,645	39,988	4,417,151	半導体・半導体製造装置
NOVANTA INC	2,280	2,119	31,002	3,424,585	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NVIDIA CORP	1,339	3,005	59,830	6,608,871	半導体・半導体製造装置
NUVASIVE INC	5,037	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	—	8,360	36,284	4,007,969	半導体・半導体製造装置
PTC INC	6,491	5,111	68,327	7,547,436	ソフトウェア・サービス
QUALCOMM INC	6,701	5,325	78,360	8,655,745	半導体・半導体製造装置
QUIDEL CORP	—	1,635	20,403	2,253,807	ヘルスケア機器・サービス
SILICON LABORATORIES INC	4,525	4,518	71,134	7,857,462	半導体・半導体製造装置
TERADYNE INC	7,115	6,065	71,961	7,948,836	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC	3,112	2,705	50,834	5,615,170	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,560	1,035	56,126	6,199,702	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC	9,759	6,820	60,436	6,675,790	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	163	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
VIAVI SOLUTIONS INC	—	14,618	23,126	2,554,605	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	1,837	1,767	25,883	2,859,078	ヘルスケア機器・サービス

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)						
AMBARELLA INC		百株 3,786	百株 2,794	千米ドル 27,931	千円 3,085,283	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	127,102 37	136,459 40	1,833,342 —	202,510,964 <67.7%>	
(台湾)						
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		43,550	27,050	千台湾ドル 1,585,130	6,295,343	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	43,550 1	27,050 1	1,585,130 —	6,295,343 <2.1%>	
(イギリス)						
OCADO GROUP PLC		16,193	14,978	千英ポンド 26,946	4,110,751	小売
AVEVA GROUP PLC		—	4,809	19,478	2,971,398	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	16,193 1	19,788 2	46,425 —	7,082,150 <2.4%>	
(オランダ)						
KONINKLIJKE PHILIPS NV		6,482	—	千ユーロ —	—	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	6,482 1	— —	— —	— <—>	
(フランス)						
SCHNEIDER ELECTRIC SE		3,925	2,966	千ユーロ 44,927	5,822,594	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	3,925 1	2,966 1	44,927 —	5,822,594 <1.9%>	
(ドイツ)						
DUERR AG		4,941	—	千ユーロ —	—	資本財
SIEMENS AG		3,810	3,814	54,396	7,049,765	資本財
INFINEON TECHNOLOGIES AG		15,927	13,208	46,004	5,962,224	半導体・半導体製造装置
KION GROUP AG		6,020	5,187	47,448	6,149,341	資本財
TEAMVIEWER AG		9,439	9,544	26,821	3,476,005	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	40,138 5	31,755 4	174,670 —	22,637,337 <7.6%>	
(その他)						
MAREL HF		65,956	60,243	千ユーロ 39,037	5,059,318	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	65,956 1	60,243 1	39,037 —	5,059,318 <1.7%>	
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	116,504 8	94,965 6	258,636 —	33,519,250 <11.2%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	303,349 47	278,263 49	— —	249,407,709 <83.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 292,966,784	% 97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,055,331	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	300,022,115	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(254,758,739千円)の投資信託財産総額(300,022,115千円)に対する比率は、84.9%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.46円、1台湾ドル=3.971円、1英ポンド=152.55円、1ユーロ=129.60円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	301,125,655,432円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,018,077,845
株 式(評価額)	292,966,784,203
未 収 入 金	1,103,540,000
未 収 配 当 金	37,253,384
(B) 負 債	1,804,571,000
未 払 金	1,104,571,000
未 払 解 約 金	700,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	299,321,084,432
元 本	133,817,306,053
次 期 繰 越 損 益 金	165,503,778,379
(D) 受 益 権 総 口 数	133,817,306,053口
1万口当り基準価額(C/D)	22,368円

- 期首元本額 160,917,472,225円
期中追加設定元本額 12,539,666,000円
期中一部解約元本額 39,639,832,172円
- 1口当たりの純資産額 2,2368円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) 126,327,250,070円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) 7,490,055,983円
期末元本合計 133,817,306,053円

■損益の状況

(2020年8月14日～2021年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,381,633,002円
受 取 配 当 金	1,383,925,054
受 取 利 息	161,578
支 払 利 息	△ 2,453,630
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	83,881,859,274
売 買 益	91,545,687,023
売 買 損	△ 7,663,827,749
(C) 信 託 報 酬 等	△ 38,736,180
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	85,224,756,096
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	101,624,856,111
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 33,306,167,828
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	11,960,334,000
(H) 計 (D+E+F+G)	165,503,778,379
次 期 繰 越 損 益 金(H)	165,503,778,379

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。